

ニフグリップ処理

医療用成型の離型で

困っていませんか？

処理仕様
 ・フッ素樹脂量
 （容積Vol.）30
 ・硬度Hv(25g) 300
 ・水に対する接触
 （角度）105度
 ・膜厚 μm 5・10・15
 ・厚生省告示第370号
 「器具及び容器包装」
 の規格試験をクリア



【当社のニフグリップとは】

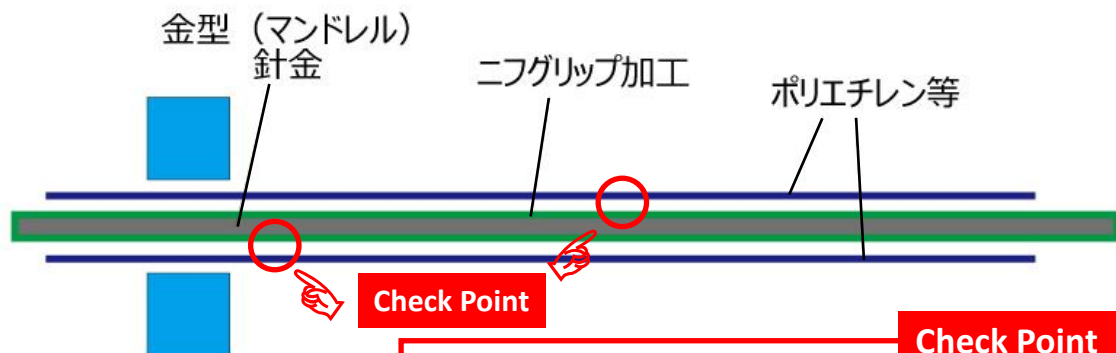
・無電解Ni-Pめっき皮膜内にフッ素樹脂が「30vol%」分散され複合している金属膜です。

【特性】

・非粘着性・離型性・滑り性・導通性の皮膜の効果で樹脂が固着しづらくなります。

【特長】

・離型が良い為、金型に固着しにくい
 ・樹脂が固着しにくいので金型のメンテナンス性向上につながる(有機溶剤で掃除が楽になる)



【こんな事で困っていませんか】

・医療用マンドレル(カテーテルチューブ)の金型への成型金型に樹脂が固着してしまう
 ・樹脂が固着する為、歩留まりが悪い

医療用マンドレルを樹脂加工する場合、熱等による樹脂の金型への固着に苦労されているユーザー様がいらっしゃいます。カテーテルシリコンチューブの金型へ固着するのを少しでも軽減又はお掃除の手間をなくす為にNIFGRIPを推奨いたします。無電解ニッケルの中にフッ素を30%含ませたフッ素樹脂とは違った耐久性の良い皮膜です。離型性以外にも耐摩耗性の優れているNIFGRIP皮膜を是非お試しください。

【用途】

樹脂成型金型
医療用